

- 問1 1868年、明治新政府は新しい政治の基本方針を天皇が神に誓うという形式で発表しました。この方針の中で、「広く会議を興し、万機公論に決すべし」として世論を尊重することや、「知識を世界に求め、大いに皇基を振起すべし」として開国和親の姿勢を示した文書を何とといいますか。
（2017年 滋賀県公立入試 類似）
1. 王政復古の大号令 2. 版籍奉還 3. 五箇条の御誓文 4. 政体書
-
- 問2 インドにおいて、主要な港湾都市と内陸を結ぶ鉄道が開通した1867年の9年前に起きた、イギリスの支配に不満を持つ人々が起こした大規模な抵抗運動は何ですか。
（2023年 東京都公立入試 類似）
1. アヘン戦争 2. 第一次世界大戦 3. 非暴力・不服従運動 4. インド大反乱（セポイの乱）
-
- 問3 明治政府が行った地租改正について、それまでの年貢（租税）の納め方と比較したとき、その仕組みとして正しい説明はどれですか。
（2021年 茨城県公立入試 類似）
1. 地価の3%にあたる分量の米を、地主が政府に納める仕組み 2. 地価の3%にあたる額の現金を、地主が政府に納める仕組み 3. 収穫量に応じた分量の米を、小作人が政府に納める仕組み 4. 収穫量の3%にあたる額の現金を、小作人が政府に納める仕組み
-
- 問4 明治政府が地租改正において、税の基準を「収穫高」から「地価」へ、納入方法を「米（物納）」から「現金（金納）」へと変更した最大の目的は何ですか。
（2017年 神奈川県公立入試 類似）
1. 作物の豊凶や米価の変動に左右されず、政府が安定した税収を得られるようにするため。 2. 土地の売買を厳しく制限することで、農民が土地を手放して都市へ流出するのを防ぐため。 3. 江戸時代の石高制を維持したまま、農民が自由に農作物を売買できるようにするため。 4. 小作人の税負担を大幅に軽減し、農村における貧富の差を解消するため。
-
- 問5 明治新政府が中央集権国家を確立する過程で行った「版籍奉還」の目的と内容について、正しく説明しているものはどれですか。
（2021年 三重県公立入試 類似）
1. 徴兵令を施行して国民から兵士を集めるために、全国の戸籍を整理し、土地の所有権と地価を確定させること。 2. 将軍から政権を朝廷へ返上させることで、武士による政治を終わらせ、天皇を中心とする新しい政治体制を開始すること。 3. すべての藩を完全に廃止して全国に県を置き、中央政府から官吏を派遣して地方行政を直接支配すること。 4. 藩主から土地と人民の支配権を天皇に返上させることで、旧来の封建的な支配体制を解体し、政府による全国統治の基盤を作ること。
-
- 問6 1869年に実施された「版籍奉還」から、1871年の「廃藩置県」へと改革が進められた主な理由として、最も適切な説明を選択してください。
（2018年 福島県公立入試 類似）
1. 欧米列強との条約改正を有利に進めるために、地方自治の独立性を高めることが求められたから。 2. 版籍奉還では旧藩主が知藩事として引き続き領地を治めていたため、政府による直接的な全国支配が十分だったから。 3. 王政復古の大号令によって江戸幕府の力が完全に消滅し、諸藩の軍事力を統合する必要がなくなったから。 4. 地租改正によって土地の所有権が確定したことで、藩という仕組みを残す必要がなくなったから。
-
- 問7 1876年に日本と朝鮮の間で締結された日朝修好条規において、日本人が朝鮮の貿易港で罪を犯した際、朝鮮側の法律ではなく日本側の官吏が裁判を行うことを認めた権利を何というか、書きなさい。
（2019年 大分県公立入試 類似）
1. 駐留権 2. 関税自主権 3. 領事裁判権 4. 最恵国待遇
-
- 問8 明治新政府が示した方針の第一条には、「広く会議を興し、万機公論に決すべし」という一節があります。この一節が示している、これからの政治のあり方についての説明として最も適切なものはどれか、次の中から選びなさい。
（2021年 福島県公立入試 類似）
1. 幕府が中心となり、有力な藩の意見を調整して政治を行うこと 2. 天皇の直接的な命令のみに基づき、国民に一切の批判を許さない政治を行うこと 3. 身分制度を厳格に維持し、武士階級のみが特権を持って政治を行うこと 4. 公議世論を尊重し、話し合いによって広く意見を取り入れて政治を行うこと
-
- 問9 明治維新後の1871年に文部省が設置され、その翌年の1872年に公布された、6歳以上のすべての男女が小学校教育を受けることを目指した教育制度を何とといいますか。
（2017年 山形県公立入試 類似）
1. 教育勅語 2. 五箇条の御誓文 3. 学制 4. 教育基本法
-
- 問10 明治時代初期、群馬県に設立された官営模範工場では、多くの女性たちが並んで座り、機械を用いて生糸を紡ぐ作業に従事していました。この工場や当時の状況について述べた文として、最も適切なものはどれですか。
（2022年 福島県公立入試 類似）
1. 全国から集まった士族の娘らが工女として働き、習得した技術を地元を持ち帰って製糸技術の普及に貢献した。 2. 日清戦争の賠償金をもとに建設され、鉄鋼の国産化を実現することで日本の重工業の発展を支えた。 3. 周辺地域で大規模な鉱毒事件が発生し、田中正造がその被害を訴えて議会で政府の責任を追及した。 4. 民間企業が経営し、深夜営業を含む過酷な労働環境によって綿糸の輸出量を飛躍的に増大させた。
-
- 問11 19世紀後半の明治維新时期において、木戸孝允らが版籍奉還や廃藩置県を断行した目的として最も適切なものはどれですか。
（2016年 福岡県公立入試 類似）
1. 幕府の権威を回復させ、封建的な社会制度を維持するため 2. 各藩の自治権を強め、地方分権的な政治を進めるため 3. 天皇を中心とした中央集権国家のしくみを整えるため 4. 鎖国体制を強化し、海外文化の流入を制限するため
-
- 問12 16世紀の伝来から江戸時代の禁教令を経て、明治初期まで続いたキリスト教への制限が、1873年に「五榜の掲示」の撤去という形で事実上解禁された理由として、最も適切なものはどれですか。
（2026年 茨城県公立入試 類似）
1. 文明開化が進む中で、欧米諸国から信教の自由を認めないことに対する強い抗議を受けたため 2. キリスト教の布教活動が、日本の近代産業の発展に不可欠であると政府が判断したため 3. 岩倉使節団が欧米の視察から帰国し、キリスト教を国教とすることを決定したため 4. 民衆の間でキリスト教が急速に広まり、政府が取り締まることが不可能になったため
-
- 問13 明治時代初期に、政府が生活様式の西洋化を含む「文明開化」を推進した背景や目的として、最も適切なものはどれか。
（2023年 大阪府公立入試 類似）
1. 江戸時代の封建的な身分制度を復活させ、武士を中心とした社会を再構築するため。 2. 仏教を国教として保護し、日本古来の思想を世界中に広めるため。 3. 外国との貿易を一切禁止し、日本独自の伝統的な産業のみを保護するため。 4. 日本が近代化された国家であることを国際的に示し、欧米諸国との不平等条約の改正を目指すため。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 五箇条の御誓文	明治新政府が発足してまもない時期に、国民や諸外国に対して新しい国づくりの方向性を示したものです。江戸時代の閉鎖的な政治を改め、話し合い（公論）によって物事を決定することや、積極的に海外の知識を取り入れて国力を高める（開国）方針が明文化されました。
問2	答え 4 インド大反乱（セポイの乱）	1857年に発生したインド大反乱（セポイの乱）は、イギリスの支配に対する大規模な抵抗運動でした。イギリスはこの反乱を鎮圧した後、東インド会社を解散させてインドを直接支配下に置きました。この反乱の鎮圧から9年後の1867年には、軍事的な統制力の強化と、綿花などの資源輸送の効率化を目的として、主要な鉄道網の開通が実現しました。
問3	答え 2 地価の3%にあたる額の現金を、地主が政府に納める仕組み	明治政府は財政を安定させるため、江戸時代までの「豊作・凶作によって納税額が変動する米による納税」を改め、土地の価格（地価）を基準にすることを決めました。これにより、豊作・凶作にかかわらず、土地を所有する地主が地価の3%（後に2.5%）を現金で納める義務を負うようになりました。納税の義務者が小作人ではなく、地券を交付された地主である点も重要な特徴です。
問4	答え 1 作物の豊凶や米価の変動に左右されず、政府が安定した税收を得られるようにするため。	江戸時代の年貢は収穫高に応じて米で納める仕組みだったため、不作の年や米の価格が下落した年には政府（幕府や藩）の収入が大きく減るという欠点がありました。近代国家を目指す明治政府は、安定した予算を組んで富国強兵や殖産興業を推進する必要があったため、土地の価格を基準に固定の金額を現金で納めさせることで、天候や市場価格に影響されない確実な税收を確保しようとしてしました。
問5	答え 4 藩主から土地と人民の支配権を天皇に返上させることで、旧来の封建的な支配体制を解体し、政府による全国統治の基盤を作ること。	版籍奉還は、土地（版）と人民（籍）を天皇に返還させる政策です。これにより、各藩主はそれまでの「領主」から「知藩事」という公職に任命される形となり、土地と人民が国の管理下にあることを示しました。これはのちの「廃藩置県」による強力な中央集権体制確立のための重要なステップとなりました。
問6	答え 2 版籍奉還では旧藩主が知藩事として引き続き領地を治めていたため、政府による直接的な全国支配が不十分だったから。	版籍奉還は土地（版）と人民（籍）を天皇に返還させるものでしたが、旧藩主が「知藩事」に任命されたため、実質的な統治構造は以前の藩体制と大きく変わりませんでした。政府が全国を一元的に支配し、近代化を加速させるためには、藩そのものを廃止して中央から官吏を派遣する「廃藩置県」が必要不可欠であったという背景があります。
問7	答え 3 領事裁判権	日朝修好条規は、江華島事件を契機に日本が軍事的な圧力をかけて朝鮮に結ばせた不平等条約です。条文の第10款には、日本人が朝鮮で罪を犯した場合に日本の領事が裁判を行う権利が明記されました。これは、かつて幕末に日本が欧米諸国との間で結ばされた不平等条約の内容（治外法権）を、今度は日本が朝鮮に対して一方的に押し付けたことを意味しています。
問8	答え 4 公議世論を尊重し、話し合いによって広く意見を取り入れて政治を行うこと	「広く会議を興し、万機公論に決すべし」とは、一部の人間が独断で政治を行うのではなく、広く人材を求めて会議を開き、公平な議論によって物事を決定しようとする姿勢を示したものです。この方針は、後の自由民権運動において国会の開設を求める理論的根拠の一つにもなりました。
問9	答え 3 学制	明治政府は、欧米諸国に対抗できる近代国家をつくるために、国民全体の知識水準を向上させる必要があると考えました。そこで1872年、フランスの制度を参考に日本初の近代的学校制度の基本法令を定め、身分や性別に関係なく教育を受けさせる「国民皆学」を目指しました。
問10	答え 1 全国から集まった士族の娘らが工女として働き、習得した技術を地元を持ち帰って製糸技術の普及に貢献した。	富岡製糸場は単なる生産施設ではなく、西洋の近代的な製糸技術を全国に広めるための「模範」としての役割を持っていました。そのため、全国から士族の娘などが工女として集められ、彼女たちが技術を習得して故郷に戻ることによって、日本の製糸業全体の近代化が進みました。他の選択肢は、八幡製鉄所や足尾銅山、民間の紡績業に関する記述です。
問11	答え 3 天皇を中心とした中央集権国家のしくみを整えるため	欧米列強に対抗できる近代国家を築くためには、地方の権力を中央政府に集中させる必要がありました。木戸孝允は、土地と人民を天皇に返還させる版籍奉還や、藩を廃止して県を置く廃藩置県を通じて、政府が全国を一体的に統治できる基盤を作りました。
問12	答え 1 文明開化が進む中で、欧米諸国から信教の自由を認めないことに対する強い抗議を受けたため	岩倉使節団が条約改正の交渉で欧米を訪れた際、キリスト教の弾圧が「野蛮な行為」として厳しく非難されました。不平等条約の改正を実現し、文明開化を推進して近代国家として認められるためには、信教の自由を認める姿勢を示す必要があったため、政府は掲示を撤去しました。
問13	答え 4 日本が近代化された国家であることを国際的に示し、欧米諸国との不平等条約の改正を目指すため。	明治政府にとって、欧米列強と対等な外交関係を築くことは急務でした。単に便利な技術を取り入れるだけでなく、思想や教育、生活様式を西洋に合わせることで、日本が文明化された「近代国家」であることをアピールする狙いがありました。

問1 明治政府が実施した地租改正において、それまでの年貢（租税）の仕組みから大きく変更された点として正しい説明を選んでください。（2024年

長崎県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 課税の基準を土地の面積から収穫高に変更し、土地を耕作している小作人が米を納めるようにした。 | 2. 課税の基準を収穫高から地価に変更し、土地の所有者が現金を納めるようにした。 | 3. 課税の基準を土地の面積から収穫高に変更し、土地の所有者が現金を納めるようにした。 | 4. 課税の基準を収穫高から地価に変更し、土地を耕作している小作人が米を納めるようにした。 |
|--|--|---|---|

問2 明治維新が進むなか、都市部を中心に欧米の文化や生活様式が取り入れられ、社会が急速に西洋化した現象を何と呼びますか。（2026年

栃木県公立入試 類似）

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 文明開化 | 2. 版籍奉還 | 3. 殖産興業 | 4. 富国強兵 |
|---------|---------|---------|---------|

問3 1871年の廃藩置県に関する略年表の説明において、新政府が地方統治の実権を完全に掌握するために導入した仕組みの背景として、最も適切な説明はどれですか。（2025年 和歌山県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 欧米諸国の制度にならい、三権分立を地方レベルで実現するために知事と議会を分離させるため。 | 2. 各藩が抱えていた多額の借金を整理するため、地方自治権を旧藩主に返還させる必要があったため。 | 3. 武士の特権を保護し、全国の不平士族が政府に対して反乱を起こすのを未然に防ぐため。 | 4. 藩知事に任命されていた旧藩主から統治権を回収し、官僚である府知事・県令が政府の意向を反映させるため。 |
|---|--|---|---|

問4 明治政府が欧米列強に対抗し、日本の自立と近代化を図るために掲げた、経済を発展させて国を豊かにし、それによって軍隊の強化を目指した基本政策を何と呼ぶか。（2017年 富山県公立入試 類似）

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 富国強兵 | 2. 文明開化 | 3. 版籍奉還 | 4. 大政奉還 |
|---------|---------|---------|---------|

問5 明治政府が土地所有者に地券を発行し、地価の3%（のちに2.5%）を現金で徴収する制度を整えた主な目的として、最も適切なものはどれですか。（2025年 愛媛県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|-------------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 封建的な土地所有を維持し、旧大名たちが引き続き領地を統治しやすくするため。 | 2. 土地の所有権を政府が独占し、農民から耕作の権利を取り上げるため。 | 3. 政府の収入を豊作や不作に関わらず一定にし、国家財政を安定させるため。 | 4. 土地の売買を禁止し、農民が土地を失って都市へ流入するのを防ぐため。 |
|--|-------------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------------|

問6 地租改正の実施にあたり、明治政府が土地の所有者に発行した証書の名称と、その後の税率の変化に関する記述として適切なものはどれですか。（2026年 山形県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 土地の所有権を示す「地券」を発行したが、重い負担に対する反対一揆が激化したため、税率は地価の3パーセントから2.5パーセントに引き下げられた。 | 2. 「株札」を発行して土地の所有を認めたが、農民の生活を保護するために、税率は収穫量の3パーセントから1パーセントに大幅に緩和された。 | 3. 「地券」を発行して土地の売買を自由にしたが、政府の軍事費増大を理由に、税率は地価の2.5パーセントから3パーセントに引き上げられた。 | 4. 土地を耕作する権利を示す「検地帳」を作成したが、士族の反乱を抑えるために、税は現金ではなく再び米で納めることが認められた。 |
|--|--|---|--|

問7 明治政府が文明開化を推進するなかで、江戸時代まで手紙や荷物を運んでいた飛脚に代わり、全国どこでも均一の料金で信書を送ることができるよう整備した近代的な通信制度を何といいますか。（2019年 奈良県公立入試 類似）

- | | | | |
|---------|--------|---------|---------|
| 1. 郵便制度 | 2. 電信網 | 3. 飛脚制度 | 4. 電話制度 |
|---------|--------|---------|---------|

問8 江戸から東京へと改称された都市部を中心に、西洋の文化が取り入れられた当時の様子を説明したものとして、最も適切なものはどれか。（2023年 大阪府公立入試 類似）

- | | | | |
|---------------------------------------|--------------------------------|---|-----------------------------------|
| 1. 鎖国が継続され、外国の技術や思想を取り入れることが厳しく制限された。 | 2. 身分制度が強化され、職業や住居の選択の自由が失われた。 | 3. 武士が刀を差して歩く姿が一般的になり、伝統的な建築様式が義務付けられた。 | 4. ザンギリ頭や洋装、レンガ造りの建物やガス灯の設置が普及した。 |
|---------------------------------------|--------------------------------|---|-----------------------------------|

問9 明治政府が「官営模範工場」を設立した背景とその目的について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2019年 新潟県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 日米修好通商条約によって失った関税自主権を取り戻すための、外交的な交渉材料とするため。 | 2. 金融恐慌による深刻な不況を克服するために、政府が失業者を雇用する公共事業として行うため。 | 3. 西洋の進んだ機械や技術を導入し、それを民間に広めることで国内産業の近代化を急ぐため。 | 4. 第一次世界大戦による大戦景気を背景に、不足していた重工業製品を自給自足するため。 |
|--|---|---|---|

問10 16世紀の伝来から江戸時代の禁教令を経て、明治初期まで続いたキリスト教への制限が、1873年に「五榜の掲示」の撤去という形で事実上解禁された理由として、最も適切なものはどれですか。（2026年 茨城県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 文明開化が進む中で、欧米諸国から信教の自由を認めないことに対する強い抗議を受けたため | 2. キリスト教の布教活動が、日本の近代産業の発展に不可欠であると政府が判断したため | 3. 岩倉使節団が欧米の視察から帰国し、キリスト教を国教とすることを決定したため | 4. 民衆の間でキリスト教が急速に広まり、政府が取り締まることが不可能になったため |
|---|--|--|---|

問11 明治政府は欧米諸国に対抗できる近代国家をつくるため、西洋の文化や制度を積極的に導入しました。これにより、まげを落として洋服を着たり、パンや牛肉を食べたりするなど、西洋風の生活様式が広まった風潮を何といいますか。（2022年 青森県公立入試 類似）

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 文明開化 | 2. 殖産興業 | 3. 版籍奉還 | 4. 富国強兵 |
|---------|---------|---------|---------|

問12 明治初期に実施された屯田兵の制度について、その目的や背景を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2020年 熊本県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 江戸時代から続く足軽の身分を維持し、世襲によって北方の国境警備を継続させること。 | 2. 琉球処分に伴う清との緊張に備えるため、九州や沖縄から北海道へ兵士を移住させること。 | 3. 秩禄処分などで生活の手段を失った士族の救済と、北海道の防衛・開拓を同時に行うこと。 | 4. 国民皆兵の原則に基づき、徴兵令によって集められた農民を北海道の警備に専念させること。 |
|---|--|--|---|

問13 明治政府が「文明開化」と呼ばれる大規模な生活や制度の西洋化を後押しした理由の一つに、外交上の大きな目的がありました。その目的として最も適切な説明を選びなさい。（2023年 岩手県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 江戸時代から続く鎖国体制を維持するために、外国の技術だけを部分的に取り入れるため。 | 2. 武士の特権を維持し、江戸時代の身分制度をより強固なものに再編するため。 | 3. 日本独自の伝統文化を否定し、すべての国民をキリスト教徒に改宗させるため。 | 4. 欧米諸国に日本が近代的な文明国であることを認めさせ、不平等条約の改正を有利に進めるため。 |
|--|--|---|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 課税の基準を収穫高から地価に変更し、土地の所有者が現金を納めるようにした。	明治政府は、天候や作柄によって税収が変動する不安定な状況を解消し、国家予算を安定させる必要がありました。そのため、土地の価値（地価）を基準に税額を固定し、さらに市場価格の影響を受けないよう、米による物納ではなく現金で納めさせる仕組みを整えました。この際、土地の所有権を認める「地券」が発行され、納税義務者は耕作人ではなく土地の所有者と定められました。
問2	答え 1 文明開化	明治初期、新政府の近代化政策や欧米文化の流入により、人々の生活が大きく変化しました。ガス灯の設置、レンガ造りの建物、牛鍋を食べる習慣の広がりなどがその象徴です。選択肢の「殖産興業」は産業の育成、「富国強兵」は経済発展と軍隊の強化を目的とした政策を指します。
問3	答え 4 藩知事に任命されていた旧藩主から統治権を回収し、官僚である府知事・県令が政府の意向を反映させるため。	1869年の版籍奉還の時点では、旧藩主がそのまま「藩知事」として地方統治を続けており、実質的には藩の独立性が残っていました。明治政府は、全国から税を徴収し軍隊を組織する強力な国家を作るため、廃藩置県によって藩知事を免職し、政府の意向に従って動く「府知事」や「県令」を派遣して、地方の行政・財政を直接管理下に置くことを目指しました。
問4	答え 1 富国強兵	明治政府は、欧米の先進国に追いつき、日本の独立を維持するために、経済力と軍事力を同時に高める必要があると考えました。この方針を実現するために、官営模範工場の設立などの「殖産興業」や、国民に兵役を課す「徴兵令」などが実施されました。
問5	答え 3 政府の収入を豊作や不作に関わらず一定にし、国家財政を安定させるため。	明治政府が近代国家としての基盤を固めるためには、軍備の増強や産業の育成（富国強兵・殖産興業）に必要な資金を安定して得る必要がありました。収穫高ではなく地価を基準とした金納制度を導入することで、毎年の予算を立てやすくし、確実な財政運営を行うことが地租改正の大きな目的でした。
問6	答え 1 土地の所有権を示す「地券」を発行したが、重い負担に対する反対一揆が激化したため、税率は地価の3パーセントから2.5パーセントに引き下げられた。	明治政府は地租改正を行う際、土地の所有者に「地券」を発行し、その土地の所有権を正式に認めました。当初、地租は地価の3%に設定されましたが、この負担は江戸時代の年貢と同様に重く、農民による大規模な反対一揆（地租改正反対一揆）が全国で起こりました。これを受けた政府は、1877年に税率を2.5%に減らす対応をとりました。
問7	答え 1 郵便制度	明治時代、政府は近代国家の基盤を築くために全国的な通信網の整備を行いました。1871年（明治4年）に導入されたこの制度は、それまでの飛脚に代わる組織的な仕組みであり、切手を用いた前払いの均一料金制を特徴としています。
問8	答え 4 ザンギリ頭や洋装、レンガ造りの建物やガス灯の設置が普及した。	明治初期の東京では、それまでのチョンマゲを切り落とした「ザンギリ頭」が流行し、銀座などではレンガ造りの街並みが整備されました。このように、生活の隅々にまで西洋の文化が浸透していったことが、当時の大きな特徴です。
問9	答え 3 西洋の進んだ機械や技術を導入し、それを民間に広めることで国内産業の近代化を急ぐため。	当時の日本は、欧米から輸入される安価で高品質な製品に対抗する必要がありました。そこで政府は自ら富岡製糸場などの官営模範工場を経営し、お手本となる技術を民間に示すことで、日本の産業全体のレベルを引き上げようとしてしました。これにより、後の民間資本による産業の発展の基礎が築かれました。
問10	答え 1 文明開化が進む中で、欧米諸国から信教の自由を認めないことに対する強い抗議を受けたため	岩倉使節団が条約改正の交渉で欧米を訪れた際、キリスト教の弾圧が「野蛮な行為」として厳しく非難されました。不平等条約の改正を実現し、文明開化を推進して近代国家として認められるためには、信教の自由を認める姿勢を示す必要があったため、政府は掲示を撤去しました。
問11	答え 1 文明開化	明治初めに、欧米の近代的な文化や風俗が急速に広まった現象を文明開化といいます。都市部を中心に、煉瓦造りの建物、ガス灯、鉄道、郵便制度なども普及しました。他の選択肢は同時期の政治・経済政策ですが、生活様式の変化そのものを指す言葉ではありません。
問12	答え 3 秩禄処分などで生活の手段を失った士族の救済と、北海道の防衛・開拓を同時に行うこと。	明治政府は、廃藩置県や秩禄処分によって特権と収入を失った士族の不満を解消するため、彼らに仕事を与える「士族授産」を進めていました。屯田兵は、ロシアに対する北方の守りを固めるという国防上の目的だけでなく、行き場を失った士族に土地を与えて自立を支援するという、社会政策としての重要な側面を持っていました。
問13	答え 4 欧米諸国に日本が近代的な文明国であることを認めさせ、不平等条約の改正を有利に進めるため。	明治政府にとって、幕末に結ばれた不平等条約の改正は国家の悲願でした。西洋の文化や制度を積極的に取り入れることで、日本が欧米に劣らない「文明国家」であることを対外的に証明し、対等な立場での条約交渉を目指すという背景がありました。そのため、単なる流行としてではなく、国策として西洋化が推し進められました。

- 問1 明治時代、ロシアなどの北方からの脅威に備える警備と、広大な土地の農業開発を同時に行う目的で北海道に置かれた軍事組織の名称として正しいものを選びなさい。 (2020年 新潟県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|-------|-------|
| 1. 屯田兵 | 2. 警視庁 | 3. 防人 | 4. 足軽 |
|--------|--------|-------|-------|
-
- 問2 大政奉還から明治政府の確立へと向かう流れにおいて、鳥羽・伏見の戦いが発生した歴史的な背景と、その後の影響について述べた説明として最も適切なものはどれですか。 (2026年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 新政府による徳川慶喜への厳しい処分案に旧幕府側が反発したことで始まり、この戦いを機に国内各地で戊辰戦争が展開された。 | 2. この戦いで勝利した旧幕府側が一時的に政権を奪還したが、その後のイギリスの介入により新政府軍が逆転勝利を収めた。 | 3. 開国を求める外国艦隊の圧力に対抗するために薩摩藩と長州藩が結成した軍が、京都に残留していた幕府組織を攻撃した戦いである。 | 4. 不平士族が徴兵制や秩禄処分に反対して起こした武力蜂起であり、この戦いの敗北により武士の時代が完全に終焉した。 |
|---|--|---|---|
-
- 問3 明治政府が地租改正を行い、税率を「収穫量」ではなく「地価」に基づき、さらに「現金」で納めさせるようにした目的として最も適切な説明はどれですか。 (2016年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 農作物の豊凶や米の価格変動に左右されず、政府が一定の税収を確実に得て、国家財政を安定させるため。 | 2. 米の流通量を政府が完全に管理することで、都市部での米不足や価格の暴騰を未然に防ぐため。 | 3. 江戸時代から続く複雑な税制を簡略化することで、地方自治体の徴税コストを大幅に削減するため。 | 4. 重い税負担に苦しんでいた小作農に土地を与え、農村全体の所得を向上させて国内の景気を刺激するため。 |
|---|--|--|---|
-
- 問4 1873年に明治政府が発表した「国民皆兵」を目指す政策において、満20歳になった男子に身分に関わらず課せられた義務は何ですか。 (2026年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|----------|----------|----------|
| 1. 納税の義務 | 2. 勤労の義務 | 3. 兵役の義務 | 4. 教育の義務 |
|----------|----------|----------|----------|
-
- 問5 明治政府が実施した地方統治の仕組みの変更にについて、佐倉藩が1871年に廃止されて印旛県へと編入された事例に関連して、当時の改革の名称とその順序として適切なものはどれですか。 (2023年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 1869年に版籍奉還が行われて藩主が知藩事に任命され、その後の1871年に廃藩置県が実施されて中央政府から知事が派遣されるようになった。 | 2. 1871年に士族の不满による西南戦争が勃発したことを受けて、軍事拠点であった藩を即座に廃止し、中央集権を強めるために地租改正を行った。 | 3. 1873年に徴兵令が施行されて全国の前藩主が軍司令官に任命され、1877年の西南戦争の終結を受けて県制度が導入された。 | 4. 1869年に地租改正が行われて土地の私的所有権が認められ、その直後に版籍奉還が実施されたことで藩の行政組織が完全に解体された。 |
|---|--|--|--|
-
- 問6 明治維新が行われた後の1868年から1880年までの期間、日本は近代国家としての基盤を整えるためにさまざまな改革を短期間で進めました。この期間の出来事として誤っているものはどれですか。 (2020年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|------------------------------------|--------------------------|--------------------------------|
| 1. 6歳以上の男女が小学校で教育を受けることを義務づける「学制」が公布された。 | 2. 満20歳になった男子に兵役の義務を課す「徴兵令」が布告された。 | 3. 新橋と横浜の間で、日本初の鉄道が開通した。 | 4. 内閣制度が創設され、伊藤博文が初代総理大臣に就任した。 |
|--|------------------------------------|--------------------------|--------------------------------|
-
- 問7 1867年の大政奉還から1881年の国会開設の約束に至るまでの明治時代初期において、政府が産業の近代化を推進するために、フランスの技術を導入して群馬県に設立した施設を次から選びなさい。 (2019年 新潟県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|----------|----------|--------------|
| 1. 富岡製糸場 | 2. 長崎造船所 | 3. 八幡製鉄所 | 4. 南満州鉄道株式会社 |
|----------|----------|----------|--------------|
-
- 問8 幕末から明治初年にかけての動乱に関連して、ヨーロッパの築城術を参考にした星形の城郭（西洋式城郭）が築かれ、戊辰戦争の最終段階において旧幕府軍の拠点となった場所はどこか、次の中から選びなさい。 (2017年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 大阪城 | 2. 五稜郭 | 3. 江戸城 | 4. 安土城 |
|--------|--------|--------|--------|
-
- 問9 1868年の鳥羽・伏見の戦いに始まった戊辰戦争は、翌1869年に北海道南端の渡島半島に位置する港町で、旧幕府軍が新政府軍に降伏したことにより終結しました。この最後の一戦を何と呼びますか。 (2019年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|---------|---------|---------|
| 1. 第一次長州征伐 | 2. 箱館戦争 | 3. 下関戦争 | 4. 西南戦争 |
|------------|---------|---------|---------|
-
- 問10 明治政府が強力な中央集権国家を樹立するために1871年に行った改革について述べたものとして、最も適切なものはどれですか。 (2022年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 土地の所有者に地券を発行し、収穫量ではなく地価の3%を現金で納めさせるようにした。 | 2. 全国の前藩を廃止して県置き、政府から派遣された府知事や県令が行政を担うようにした。 | 3. 旧藩主が土地と人民を天皇に返還し、引き続きその土地の知藩事として統治を続けるようにした。 | 4. 満20歳以上の男子に兵役の義務を課し、身分に関わらず国民皆兵の軍隊を組織した。 |
|--|--|---|--|
-
- 問11 明治初期の様子を描いた劇において、徴兵検査に合格した次男が家を離れることになり、さらに満6歳になった末っ子が小学校に通い始めることで、貴重な労働力を失うことを嘆く農民一家の場面があります。このような国民の負担増を伴う改革を明治政府が推し進めた、最大の目的は何ですか。 (2023年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------------|----------------------------------|--|---------------------------------|
| 1. 藩を廃止して県を置くことで、中央政府による統治を徹底するため | 2. 江戸時代の身分制度を廃止して、すべての国民を平等にするため | 3. 土地の所有権を明確にし、地価の3%を現金で徴収して税収を安定させるため | 4. 軍事力を強め、経済を発展させて欧米に並ぶ国力をつけるため |
|-----------------------------------|----------------------------------|--|---------------------------------|
-
- 問12 明治時代初期に、政府による近代化政策とともに、欧米の思想や技術、制度が積極的に導入されたことで、日本人の生活様式が急速に西洋化した社会的現象を何というか。 (2023年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|-----------|
| 1. 富国強兵 | 2. 殖産興業 | 3. 文明開化 | 4. 自由民権運動 |
|---------|---------|---------|-----------|
-
- 問13 1873年に始まった地租改正において、それまでの江戸時代の年貢の納め方から変更された点として、正しい説明はどれですか。 (2017年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------|----------------------------------|-------------------------------------|----------------------------------|
| 1. 士族が領主として、農民から直接米を徴収するようになった。 | 2. 土地の耕作者が、収穫量を基準にして米で納めるようになった。 | 3. 村全体が連帯責任を負い、収穫量に応じた現金を納めるようになった。 | 4. 土地の所有者が、地価を基準にして現金で納めるようになった。 |
|---------------------------------|----------------------------------|-------------------------------------|----------------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 屯田兵	明治政府は、ロシアの南下政策を警戒し、北方の警備を強化する必要がありました。同時に、北海道の豊かな資源を開発するために大規模な開拓も急務であったため、兵士と農民の役割を兼ね備えた屯田兵という制度を設けました。防人は古代の九州沿岸の警備組織であるため、時代背景が異なります。
問2	答え 1 新政府による徳川慶喜への厳しい処分案に旧幕府側が反発したことで始まり、この戦いを機に国内各地で戊辰戦争が展開された。	大政奉還の後、新政府内では徳川氏を完全に排除しようとする勢力が強まり、「小御所会議」において慶喜の官職剥奪と領地返上（辞官納地）が決定されました。これに憤った旧幕府軍が京都へ進軍して衝突したのが鳥羽・伏見の戦いです。この勝利により新政府軍は「官軍（天皇の軍）」としての地位を確立し、江戸の無血開城を経て、函館の五稜郭の戦いに至る戊辰戦争へと続いていきます。
問3	答え 1 農作物の豊凶や米の価格変動に左右されず、政府が一定の税収を確実に得て、国家財政を安定させるため。	米による物納では、天候による豊凶や市場での米価の変動によって、政府の歳入が大きく増減してしまい、近代国家としての計画的な予算編成が困難でした。地租改正によって「地価に応じた現金納」に転換したことで、政府は毎年の収入を一定に保ち、安定した国家財政の基盤を築くことが可能になりました。
問4	答え 3 兵役の義務	明治政府は、近代的な軍隊を組織するために「国民皆兵」をスローガンとして掲げ、1873年に徴兵令を公布しました。これにより、それまで軍事を独占していた士族に代わり、満20歳に達したすべての男子が兵役に服することが義務付けられました。
問5	答え 1 1869年に版籍奉還が行われて藩主が知藩事に任命され、その後の1871年に廃藩置県が実施されて中央政府から知事が派遣されるようになった。	明治維新における地方行政の変遷を辿ると、まず1869年に版籍奉還が行われ、藩主は土地（版）と人民（籍）を天皇に返還しました。この段階では旧藩主が「知藩事」として引き続き各地の統治を任されていました。しかし、中央集権を徹底するため、1871年に廃藩置県が断行されました。これにより藩という仕組みそのものが廃止され、佐倉藩などの地方組織は中央政府が任命した府知事・県知事が統治する「府」や「県」へと再編されました。
問6	答え 4 内閣制度が創設され、伊藤博文が初代総理大臣に就任した。	明治初期の社会改革では、1872年の学制公布、1873年の徴兵令布告、1872年の鉄道開通などが相次いで行われ、近代化の基盤が作られました。一方、内閣制度の創設は1885年であり、大日本帝国憲法の発布（1889年）に向けた政治体制の整備が進む、より後の時期の出来事です。
問7	答え 1 富岡製糸場	明治政府は輸出産業の柱であった生糸の品質向上と増産を目指し、1872年に官営模範工場として富岡製糸場を設立しました。フランスから技術者を招き、最新の機械を用いた製糸技術を全国に広める役割を果たしました。なお、八幡製鉄所は日清戦争後の賠償金をもとに設立された重工業の拠点であり、時代背景が異なります。
問8	答え 2 五稜郭	北海道の函館に築かれた五稜郭は、大砲による攻撃を防ぎやすくするために死角をなくした西洋式の星形城郭です。1868年から始まった戊辰戦争の最終局面において、榎本武揚ら率いる旧幕府軍がここに立てこもり、新政府軍と最後の戦い（箱館戦争）を繰り広げました。1869年の開城をもって、一連の戊辰戦争は終結しました。
問9	答え 2 箱館戦争	戊辰戦争は、京都の鳥羽・伏見の戦いから始まり、江戸城の無血開城、東北での転戦を経て、最終的に北海道の函館（当時は箱館）へと戦いの舞台が移りました。この函館での戦いを箱館戦争と呼び、これにより明治新政府による国内統一が完成しました。
問10	答え 2 全国の藩を廃止して県を置き、政府から派遣された府知事や県令が行政を担うようにした。	明治政府は、日本を近代的な中央集権国家にするため、1871年に廃藩置県を実施しました。これによって江戸時代から続いた各藩の独自統治を終わらせ、政府が直接任命した府知事（三府）や県令を地方へ派遣することで、全国を直接支配する仕組みを整えました。選択肢にある版籍奉還は1869年に行われましたが、これは旧藩主がそのまま知藩事に任命されたため、中央集権化としては不十分なものでした。
問11	答え 4 軍力を強め、経済を発展させて欧米に並ぶ国力をつけるため	当時の日本は、欧米列強による植民地化の脅威にさらされていました。これを防ぐには、徴兵令によって近代的な軍隊を組織し、学制によって近代産業を支える国民を育成する必要がありました。この「富国強兵」を目指した政策は、一方で農村にとっては働き手を奪われるなどの重い負担となり、各地で反対一揆が起こる原因にもなりました。
問12	答え 3 文明開化	明治政府は不平等条約の改正を有利に進めるため、日本が欧米に劣らない近代国家であることを示す必要がありました。その一環として、衣食住にわたる西洋化が進められ、暦（れき）の改正や牛鍋の流行、洋服の着用などが一般に広まりました。
問13	答え 4 土地の所有者が、地価を基準にして現金で納めるようになった。	江戸時代の年貢は「収穫された米」を納めるものを中心でしたが、地租改正では「地価」を課税基準とし、納税方法も「現金」へと改められました。これにより、政府は農作物の作柄や価格の変動による影響を受けずに、予算を立てることが可能になりました。一方で、負担が重かったことから、後に各地で反対一揆が起こり、税率は2.5パーセントへと引き下げられました。

問1 明治政府が「廃藩置県」を実施した最大の目的は、どのような国家体制を築くことにありましたか。 (2020年 愛知県公立入試 類似)

1. 旧来の藩主による統治を認めつつ、天皇が象徴として君臨する緩やかな連合体制の維持
2. 各藩が独自の軍隊や法律を持つことで、地方の自立性を高める体制の構築
3. 全国を中央政府が直接支配し、軍事や徴税などの権限を一本化する中央集権体制の確立
4. 農民に土地の所有権を認め、それぞれの地域が独自の財政で運営を行う地方分権体制の推進

問2 明治政府が行った地租改正について、それまでの江戸時代の年貢の仕組みと比較した説明として、正しいものはどれですか。 (2026年 鳥取県公立入試 類似)

1. 農民の負担を減らして耕作意欲を高めるため、課税基準を土地の面積から収穫高に変更し、米で納めさせた。
2. 豊作や不作に左右されず政府の収入を安定させるため、課税基準を収穫高から地価に変更し、現金で納めさせた。
3. 土地の所有権を国が一括管理するため、課税基準を地価から収穫高に変更し、金貨または銀貨で納めさせた。
4. 物価の変動に対応して税率を増やすため、課税基準を米の収穫量から市場価格に変更し、米で納めさせた。

問3 長州藩が薩摩藩と結んだ「薩長同盟」の背景や、その後の動きについての説明として最も適切なものを選びなさい。 (2024年 富山県公立入試 類似)

1. 外国の勢力を排除する攘夷を完遂するため、沿岸部の防備を固めて幕府への忠誠を誓った。
2. 貿易の利権を独占するために、幕府の許可を得て長崎などの開港場を共同で管理した。
3. 江戸幕府の権威を回復させるため、有力な藩が協力して公武合体運動を支えた。
4. 天皇を中心とする新しい政治体制を築くため、対立していた藩同士が手を結び、倒幕運動を推進した。

問4 明治政府が行った地租改正において、土地の所有権を公的に認め、納税の義務を確定させるために、土地の所有者に交付された証書を何と呼びますか。 (2025年 岡山県公立入試 類似)

1. 株券
2. 公債証書
3. 不換紙幣
4. 地券

問5 大政奉還から明治政府の確立へと向かう流れにおいて、鳥羽・伏見の戦いが発生した歴史的な背景と、その後の影響について述べた説明として最も適切なものはどれですか。 (2026年 愛媛県公立入試 類似)

1. この戦いで勝利した旧幕府側が一時的に政権を奪還したが、その後のイギリスの介入により新政府軍が逆転勝利を収めた。
2. 不平士族が徴兵制や秩禄処分に対抗して起こした武力蜂起であり、この戦いの敗北により武士の時代が完全に終焉した。
3. 開国を求める外国艦隊の圧力に対抗するために薩摩藩と長州藩が結成した軍が、京都に残留していた幕府組織を攻撃した戦いである。
4. 新政府による徳川慶喜への厳しい処分案に旧幕府側が反発したことで始まり、この戦いを機に国内各地で戊辰戦争が展開された。

問6 明治政府が1871年に実施した廃藩置県の制度上の特徴と、その目的について述べた文として最も適切なものはどれですか。 (2024年 栃木県公立入試 類似)

1. 旧藩主をそのまま知事として留任させ、幕藩体制を近代化させることを目的とした。
2. 各県に大幅な自治権を与え、アメリカのような連邦制の国づくりを目指した。
3. 中央政府から府知事・県知事を派遣し、全国を直接統治する中央集権体制を確立しようとした。
4. 武士の特権を守るために藩の借金を政府が肩代わりし、士族の生活を保障しようとした。

問7 明治政府が「殖産興業」を推進した目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2025年 千葉県公立入試 類似)

1. 地主の権限を強めることで、農業生産を向上させ税収を安定させるため
2. 鎖国体制を維持するために、外国の技術を一切排除して伝統産業を保護するため
3. 世界恐慌による不況から脱出するために、公共事業を増やして失業者を救済するため
4. 近代的な産業を育成することで国力を高め、欧米列強と対等な立場を築くため

問8 津田梅子ら女子留学生が同行した岩倉使節団の派遣について、その目的や背景を説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2019年 徳島県公立入試 類似)

1. 不平等条約の改正に向けた予備交渉とともに、欧米の進んだ制度や文化を視察すること
2. 日露戦争の講和条約であるポーツマス条約を締結し、領土問題を解決すること
3. 鎖国体制を維持するために、外国船を撃退するための軍事技術を秘密裏に導入すること
4. 大正デモクラシーの風潮の中で、普通選挙法の制定に向けた欧米の選挙制度を調査すること

問9 明治時代初期、群馬県に設立された官営模範工場では、多くの女性たちが並んで座り、機械を用いて生糸を紡ぐ作業に従事していました。この工場や当時の状況について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 福島県公立入試 類似)

1. 全国から集まった士族の娘らが工女として働き、習得した技術を地元を持ち帰って製糸技術の普及に貢献した。
2. 周辺地域で大規模な鉱毒事件が発生し、田中正造がその被害を訴えて議会で政府の責任を追及した。
3. 民間企業が経営し、深夜営業を含む過酷な労働環境によって綿糸の輸出量を飛躍的に増大させた。
4. 日清戦争の賠償金をもとに建設され、鉄鋼の国産化を実現することで日本の重工業の発展を支えた。

問10 ドイツの統一に深く関わった人物や組織、および日本への影響について述べた文として正しいものはどれですか。 (2021年 山口県公立入試 類似)

1. イギリスの官僚制度をそのまま導入することで、短期間での近代化に成功した
2. フランスのナポレオン3世が首相となり、民衆の直接投票によって統一を達成した
3. イタリアのガリバルディが指導する義勇軍と協力し、地中海全域を支配する国家を建設した
4. プロイセンの首相ビスマルクが主導し、その強力な君主権を持つ仕組みは日本の明治憲法に影響を与えた

問11 明治維新後の政治体制において、大久保利通が「内務卿」として主導した政策の目的と背景について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。 (2016年 愛媛県公立入試 類似)

1. 武士の特権を維持することで不平士族の反乱を抑えようと、版籍奉還後の領地を再び旧藩主へと返還する方針を打ち出した。
2. 欧米諸国の視察を通じて痛感した国力の差を埋めるため、官営模範工場の設立などを通じて国内諸産業の育成を図った。
3. 不平等条約の改正を有利に進めるため、鹿鳴館を建設して欧米風の生活様式を国民に強制し、急速な欧化政策を進めた。
4. 議会政治の早期実現を目指し、自由民権運動の要求を受け入れる形で国会の開設時期を公約した。

問12 明治政府は、欧米の新しい技術を導入し日本の産業を育成するために「殖産興業」という政策を推進しました。この政策の一環として、西洋の機械や技術を導入し、民間に広める手本とするために全国各地に設立された政府直営の工場を何といいますか。 (2016年 佐賀県公立入試 類似)

1. 国立銀行
2. 株式会社
3. 官営模範工場
4. 座

問13 明治政府が租税制度を改革し、地価を基準とした一定額の現金を徴収する仕組みを整えた最大の目的は何か。 (2017年 鹿児島県公立入試 類似)

1. 豊作や不作といった天候に左右されず、政府の予算を安定させるため
2. 土地の売買を禁止することで、農民が土地を手放さないようにするため
3. 農村の貧富の差をなくし、すべての農民の負担を均等にするため
4. 米の市場価格を政府がコントロールし、物価の安定を図るため

答え合わせ・解説

問1	答え 3 全国を中央政府が直接支配し、軍事や徴税などの権限を一本化する中央集権体制の確立	欧米諸国に対抗できる近代国家をつくるためには、バラバラだった藩を廃止し、権力を中央政府に集中させる必要がありました。廃藩置県によって地方の軍事や財政を政府が掌握できるようになったことは、その後の徴兵令や地租改正などの改革を推進する基盤となりました。
問2	答え 2 豊作や不作に左右されず政府の収入を安定させるため、課税基準を収穫高から地価に変更し、現金で納めさせた。	江戸時代の年貢は米の収穫高に応じて決まっていたため、天候不順による不作などが政府の財政を不安定にする要因となっていました。明治政府はこの問題を解決し、近代化のための安定した財政基盤を築くために、土地の価格（地価）を基準とし、豊作・不作といった作柄に関係なく、一定の額を現金で納めさせる制度を整えました。
問3	答え 4 天皇を中心とする新しい政治体制を築くため、対立していた藩同士が手を結び、倒幕運動を推進した。	長州藩は当初、外国を武力で排斥する攘夷を主張していましたが、イギリスなどの四国艦隊下関砲撃事件での敗北を経て、近代化と倒幕の必要性を認識しました。土佐藩の坂本龍馬らの仲介によって、それまで対立していた薩摩藩と同盟を結ぶことで、武力による倒幕と天皇を中心とした新政府の樹立を目指す道筋が作られました。
問4	答え 4 地券	1872年（明治5年）から交付が始まったこの証書は、土地の売買を認めると同時に、それまで不明確だった土地の所有権を政府が公認する役割を果たしました。これによって土地が個人の財産として確立され、同時に政府は誰から税を徴収すべきかを明確にすることができました。
問5	答え 4 新政府による徳川慶喜への厳しい処分案に旧幕府側が反発したことで始まり、この戦いを機に国内各地で戊辰戦争が展開された。	大政奉還の後、新政府内では徳川氏を完全に排除しようとする勢力が強まり、「小御所会議」において慶喜の官職剥奪と領地返上（辞官納地）が決定されました。これに憤った旧幕府軍が京都へ進軍して衝突したのが鳥羽・伏見の戦いです。この勝利により新政府軍は「官軍（天皇の軍）」としての地位を確立し、江戸の無血開城を経て、函館の五稜郭の戦いに至る戊辰戦争へと続いていきます。
問6	答え 3 中央政府から府知事・県知事を派遣し、全国を直接統治する中央集権体制を確立しようとした。	明治政府は、欧米列強に対抗できる近代国家を建設するため、政府の命令が全国に速やかに行き渡る体制を求めています。廃藩置県によって旧藩主の統治権を完全に取り上げ、政府が任命した官吏（府知事・県知事）を派遣して統治させることで、政治・軍事・租税などの権限を中央政府に集中させる「中央集権化」を成し遂げました。
問7	答え 4 近代的な産業を育成することで国力を高め、欧米列強と対等な立場を築くため	当時の日本は、江戸時代末期に結ばれた不平等条約の改正が悲願となっていました。そのためには、欧米諸国に並ぶ経済力と軍事力を持つことが不可欠であり、政府は「殖産興業」を通じて西洋の技術や制度を積極的に導入しました。選択肢にある「公共事業による失業者救済」はアメリカのニューディール政策などの特徴であり、明治時代の政策意図とは異なります。
問8	答え 1 不平等条約の改正に向けた予備交渉とともに、欧米の進んだ制度や文化を視察すること	岩倉使節団は、岩倉具視を全権大使とし、木戸孝允、大久保利通、伊藤博文といった政府の有力者が参加した大規模な使節団でした。最大の目的は江戸時代に結ばれた不平等条約の改正交渉でしたが、当時の日本にはまだ近代的な法整備が整っていなかったため交渉は難航しました。一方で、欧米の政治、産業、教育などを直接視察したことは、その後の日本の近代化（文明開化）に極めて大きな影響を与えました。
問9	答え 1 全国から集まった士族の娘らが工女として働き、習得した技術を地元を持ち帰って製糸技術の普及に貢献した。	富岡製糸場は単なる生産施設ではなく、西洋の近代的な製糸技術を全国に広めるための「模範」としての役割を持っていました。そのため、全国から士族の娘などが工女として集められ、彼女たちが技術を習得して故郷に戻ることで、日本の製糸業全体の近代化が進みました。他の選択肢は、八幡製鉄所や足尾銅山、民間の紡績業に関する記述です。
問10	答え 4 プロイセンの首相ビスマルクが主導し、その強力な君主権を持つ仕組みは日本の明治憲法に影響を与えた	プロイセンを中心としたドイツの統一は、君主の権限が強い中央集権的な体制を生み出しました。当時、近代国家への脱皮を急いでいた日本の明治政府は、イギリスやフランスのような市民の権利が強いモデルよりも、政府主導で国力を高めるドイツ（プロイセン）の仕組みが適していると判断し、大日本帝国憲法の制定に大きな影響を与えました。
問11	答え 2 欧米諸国の視察を通じて痛感した国力の差を埋めるため、官営模範工場の設立などを通じて国内諸産業の育成を図った。	大久保利通は、岩倉使節団での経験から日本の未熟さを認識し、国家主導で産業を育てる「殖産興業」を推進しました。富岡製糸場に代表される官営模範工場の設立や、海運業の育成などは、すべて「富国強兵」を実現するための経済的基盤作りを目的としていました。
問12	答え 3 官営模範工場	明治政府は、欧米諸国に対抗できる国力を作るため、近代産業を育成する「殖産興業」の政策を掲げました。その具体的な施策として、フランスなどの最新技術を取り入れた官営模範工場を建設し、そこでの技術を民間へ普及させることで日本の工業化を主導しました。群馬県の富岡製糸場はその代表例です。
問13	答え 1 豊作や不作といった天候に左右されず、政府の予算を安定させるため	江戸時代の年貢は収穫量に応じて納める額が決まる「取箇（とりか）」の仕組みだったため、不作の年は政府の収入が激減するという課題がありました。地租改正によって、収穫高に関わらず「地価」という固定された基準に基づいて「現金」で納税させる仕組みに改めたことで、政府は国家予算を計画的に立てることが可能になりました。

- 問1 1867年に徳川慶喜が大政奉還を行った後、岩倉具視や薩摩藩・長州藩の勢力は、旧幕府側が新政府における政治的な主導権を握り続けることを防ぐためにある宣言を出しました。その直後に開かれた会議（小御所会議）において、徳川慶喜に対して突きつけられた要求の内容として最も適切なものはどれですか。（2024年 宮崎県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------------------------|------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|
| 1. 内大臣の官位を辞退し、徳川家の領地を返上すること | 2. 江戸幕府を再興し、天皇を補佐する関白の職に就くこと | 3. 薩摩藩と長州藩に対して軍事同盟を破棄するよう命じること | 4. 武家諸法度を廃止し、全国の諸大名を天皇の家臣とすること |
|-----------------------------|------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|
- 問2 西南戦争が終結し、武力による新政府への抵抗が困難であることが明らかになった後、明治時代の反対運動はどのように変化しましたか。その後の歴史的展開として正しい説明を選んでください。（2018年 香川県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 不平士族たちの要望を受け入れる形で、江戸時代の身分制度や家禄が一部復活した。 | 2. 政府への不満を持つ人々は、政治に関与することを諦めて海外への移住を急いだ。 | 3. 武力行使に代わり、言論の力で国会の開設や憲法の制定を求める自由民権運動が活発化した。 | 4. 政府は反対勢力をなだめるため、即座に選挙を実施し、不平士族のみに参政権を与えた。 |
|---|--|---|---|
- 問3 明治政府は、国家財政を安定させるために地租改正を行いました。この改革において、それまでの年貢（租税）の仕組みから大きく変更された点として正しいものはどれですか。（2019年 佐賀県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 商業を活性化させるため、土地への課税を廃止して、商品の流通量に応じた税を課すようにした | 2. 土地をすべて政府の所有とし、耕作する農民から小作料として米を徴収するようにした | 3. 農民の負担を軽くするため、毎年の収穫量の増減に応じて納める米の量を決めるようにした | 4. 豊作や凶作といった収穫量に関わらず、地価を基準にして現金を納めさせるようにした |
|--|--|--|--|
- 問4 明治政府が、戊辰戦争の翌年に実施された「版籍奉還」という政策を最初に行った目的として最も適切な説明はどれですか。（2026年 愛媛県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------------------------------|------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 武士の身分を廃止し、国民全員が兵役に就く制度を整えるため | 2. 憲法を制定し、国会を開設するための準備を整えるため | 3. 全国の土地を調査し、それに応じた税を現金で徴収できるようにするため | 4. 土地と人民を天皇に帰属させることで、中央集権国家の基礎を築くため |
|---------------------------------|------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|
- 問5 1873年から実施された地租改正において、それまでの年貢（租税）の制度と大きく異なる点として正しい説明はどれですか。（2026年 山形県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 身分によって税率が異なる仕組みを廃止し、全ての国民が所有する農具や家屋の数に応じて現金で納めるようになった。 | 2. 村全体で一括して税を納める仕組みを廃止し、収穫量の3パーセントを基準として米で納めるようになった。 | 3. 土地の面積のみを基準とする仕組みに変わり、収穫した米を直接政府へ納める物納の制度が強化された。 | 4. 豊作や凶作によって変動する収穫量を基準にするのではなく、土地の価値である地価を基準とし、現金で納めるようになった。 |
|---|--|--|--|
- 問6 1873年から明治政府が実施した地租改正について、それまでの収穫量に応じた年貢の納入から、土地の価格（地価）を基準とした金納へと変えた最大の目的は何ですか。（2014年 沖縄県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 米の流通を制限することで、都市部における米の価格を下落させるため | 2. 天候による豊作や不作に左右されず、政府の歳入を安定させるため | 3. 農村の貧困を解決するために、農民が納める税の負担を大幅に軽減するため | 4. 地方の有力な豪農の力を弱め、政府が直接土地を管理できるようにするため |
|-------------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|
- 問7 明治政府が推進した「富国強兵」の一環として、経済基盤の整備が行われました。1871年に貨幣単位として「円」が採用され、1882年には日本銀行が設立されるなど、金融制度が整えられた主な目的として、最も適切な説明はどれですか。（2020年 岡山県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 福沢諭吉に代表される西洋の学問を広めるため、書籍の出版費用を政府がすべて負担する仕組みを整えようとしたため。 | 2. 1930年頃に始まった世界恐慌による混乱を収めるため、新しい通貨を発行してデフレーションを抑制しようとしたため。 | 3. 江戸時代から続く藩札の利用を奨励し、各地方の経済的な自立を促すことで幕藩体制の再興を狙ったため。 | 4. 近代的な経済システムを確立し、産業の発展（殖産興業）や軍事力の強化を支えるための安定した財政基盤を築くため。 |
|---|---|---|---|
- 問8 地租改正の内容について述べた文として、正しいものはどれですか。（2022年 福島県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------------------------------------|--------------------------------------|--|---------------------------------------|
| 1. 旧藩主が所有する土地を調査し、全国一律の小作料を定めることとした。 | 2. 土地の所有者に地券を交付し、地価の3%を税として現金で納めさせた。 | 3. 耕作者に土地の所有権を与え、収穫高の2.5%を税として米で納めさせた。 | 4. 地価の10%を税率とし、政府が発行する紙幣のみでの納税を義務付けた。 |
|--------------------------------------|--------------------------------------|--|---------------------------------------|
- 問9 日本の近代国家形成の過程において、初代内閣総理大臣を務めた伊藤博文の経歴や役割を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2017年 大阪府公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|--|----------------------------|
| 1. 天草や神戸など各地の開港を主張し、慶應義塾を創設して『学問のすめ』を著した。 | 2. 明治政府の初代内務卿として権力を握り、学制や徴兵令、地租改正を主導して富国強兵を進めた。 | 3. 神戸税関の前身である兵庫運上所の長官を経験し、後に内閣制度を創設して初代首相となった。 | 4. 土佐藩出身の政治家として、民権運動を組織した。 |
|---|---|--|----------------------------|
- 問10 1867年に徳川慶喜が政権を朝廷に返上しましたが、倒幕派の諸藩は天皇中心の新政権を樹立するため、ある宣言を行いました。この宣言をきっかけとして、翌1868年から新政府軍と旧幕府軍との間で発生した約1年半にわたる内戦の名称として正しいものはどれですか。（2020年 香川県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------------------|---------------------|---------------------|------------------------|
| 1. 廃藩置県によって始まった日清戦争 | 2. 版籍奉還によって始まった西南戦争 | 3. 大政奉還によって始まった西南戦争 | 4. 王政復古の号令によって始まった戊辰戦争 |
|---------------------|---------------------|---------------------|------------------------|
- 問11 明治時代の人物の功績をまとめた年表において、1871年に「使節団の派遣」という項目が記されることがあります。このとき派遣された岩倉使節団に女子留学生が同行した主な理由と、その後の影響について述べた文として最も適切なものはどれですか。（2023年 千葉県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 欧米諸国との縁談を通じて外交関係を強化するためであり、帰国後は多くの留学生が外交官として活躍した。 | 2. 欧米の最新の軍事技術を習得させるためであり、帰国後は看護制度の確立に大きな影響を与えた。 | 3. 欧米の教育や文化を学ばせて帰国後の女子教育に役立てるためであり、津田梅子らがその後の教育発展に寄与した。 | 4. 欧米の産業革命を視察して工場の管理技術を学ばせるためであり、帰国後は製糸業の発展に貢献した。 |
|--|---|---|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 内大臣の官位を辞退し、徳川家の領地を返上すること	大政奉還によって政権は朝廷に返されましたが、徳川家は依然として日本最大の領地を持つ大名であり、新しく作られる議会形式の政権においても実権を握り続けることが予想されました。これを阻止したい倒幕派は、王政復古の大号令を発した当日の夜、小御所会議において慶喜に対し、官位の辞退と領地の返上（辞官納地）を命じました。これにより徳川家の経済的・政治的な基盤を奪い、新政府から旧幕府勢力を完全に排除しようとしたのです。
問2	答え 3 武力行使に代わり、言論の力で国会の開設や憲法の制定を求める自由民権運動が活発化した。	西南戦争を最後に、士族による組織的な武力蜂起は収束しました。政府に反対する人々は、国会の開設などを求める「言論」による抵抗（自由民権運動）へと活動の場を移し、板垣退助らを中心に国民の権利を主張する動きが全国へと広がっていきました。
問3	答え 4 豊作や凶作といった収穫量に関わらず、地価を基準にして現金を納めさせるようにした	江戸時代の年貢は収穫量に応じて米を納める仕組み（検見法など）であったため、天候不順による凶作が起こると政府の収入が不安定になるという欠点がありました。明治政府は地租改正によって、課税の基準を「収穫量」から「地価（土地の価格）」に変え、さらに「米」ではなく「現金」で納めさせることで、豊凶に左右されない安定した税収を確保しようとしたのです。
問4	答え 4 土地と人民を天皇に帰属させることで、中央集権国家の基礎を築くため	江戸時代までは土地や人民は各藩の領主が直接支配していましたが、それでは強力な統一国家を築くことが困難でした。そこで明治政府は「版（土地）」と「籍（人民）」を天皇に返還させることで、全国的な支配権を政府に集中させる「中央集権」を目指しました。これは、その後の地租改正や廃藩置県といった一連の改革を進めるための不可欠な前提条件でした。
問5	答え 4 豊作や凶作によって変動する収穫量を基準にするのではなく、土地の価値である地価を基準とし、現金で納めるようになった。	明治政府は、政府の収入を安定させるために地租改正を行いました。江戸時代の年貢は収穫量に応じて変動する「米による物納」でしたが、この改革によって、土地の価格である「地価」を課税基準とし、天候などの影響を受けない「現金による金納」へと改められました。これにより、政府は毎年の予算を立てやすくなりました。
問6	答え 2 天候による豊作や不作に左右されず、政府の歳入を安定させるため	明治政府が近代国家としての基盤を固めるためには、軍備の増強や産業の育成に必要な多額の資金を計画的に確保する必要がありました。それまでの年貢制度では、冷害や干ばつといった天候による不作が起きると政府の収入が激減するという課題がありました。土地の所有者に「地価」に応じた一定額の現金を納めさせる仕組みに変えることで、国家財政の根幹となる歳入を天候に関わらず一定に保つことが狙われました。
問7	答え 4 近代的な経済システムを確立し、産業の発展（殖産興業）や軍事力の強化を支えるための安定した財政基盤を築くため。	富国強兵を達成するためには、近代的な産業を育てる資金や、軍備を整えるための莫大な予算が必要でした。そのため、政府は1871年に新貨幣条例を定めて「円」を導入し、1882年には中央銀行である日本銀行を設立することで、通貨価値の安定と金融統制を図りました。これにより、政府主導の近代化政策を支える強力な財政基盤が形成されました。
問8	答え 2 土地の所有者に地券を交付し、地価の3%を税として現金で納めさせた。	地租改正では、土地の所有者に対して地価の3%を税率として課しました。しかし、この負担が以前の年貢と変わらず重かったことから、各地で農民一揆が発生しました。これを受けて、1877年に税率は2.5%へと引き下げられることになります。
問9	答え 3 神戸税関の前身である兵庫運上所の長官を経験し、後に内閣制度を創設して初代首相となった。	明治初期の地方官としてのキャリアにおいて、兵庫県知事や兵庫運上所の長官を務め、海外との貿易や外交の実務に深く関わりました。この経験が後の条約改正交渉や、近代的な政治制度の構築に活かされています。他の選択肢にある大久保利通（内務卿）や福沢諭吉（慶應義塾創設）、板垣退助（自由民権運動）といった同時代の重要人物と、その具体的な功績や出身を区別して理解することが重要です。
問10	答え 4 王政復古の大号令によって始まった戊辰戦争	江戸幕府が政権を返上した大政奉還のあと、薩摩藩や長州藩らを中心とする勢力は、天皇中心の政治に戻すことを宣言する「王政復古の大号令」を発しました。これにより新政府が成立しましたが、権力を失うことに反発した旧幕府軍との間で、1868年の鳥羽・伏見の戦いを皮切りに「戊辰戦争」と呼ばれる一連の内戦が引き起こされました。西南戦争は明治初期の士族による反乱であり、日清戦争は清との間で行われた対外戦争です。
問11	答え 3 欧米の教育や文化を学ばせて帰国後の女子教育に役立てるためであり、津田梅子らがその後の教育発展に寄与した。	岩倉使節団に女子留学生が同行した背景には、欧米の進んだ教育や家庭のあり方を学ばせ、日本の近代化に欠かせない女子教育の指導者を育成するという意図がありました。同行した留学生の一人である津田梅子は、長期間の留学生活で得た知識と経験を活かし、帰国後に女子教育の普及に一生を捧げ、日本の近代女子教育の基礎を築きました。